

学生の確保の見通し等を記載した書類

<目次>

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況----- p. 2
 - ① 学生の確保の見通し----- p. 2
 - ア 定員充足の見込み----- p. 2
 - イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要----- p. 2
 - ウ 学生納付金の設定の考え方----- p. 4
 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況----- p. 4
- (2) 人材需要の動向等社会の要請----- p. 5
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） ----- p. 5
 - ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠----- p. 5

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学医学研究科修士課程の入学定員は4名を予定している。これは、本学の有する教員・施設から判断される教育効果、本修士課程への進学が期待される対象者（工学部生、医学部以外の医療・福祉系学部生、社会安全及び医療経営系学部生、近隣医療機関に勤務するコメディカル、周辺の自治体職員等）に対して行ったアンケート結果、周辺他大学の大学院医学研究科修士課程の充足状況などを考慮して設定したものである（詳細は「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」を参照）。4名という定員は大学院生のコミュニティとしては小さいが、既設の博士課程（現定員54名）と共に受講できる共通の必修科目を設けることにより、人的交流の促進を図る予定である。

本修士課程は、

- ・医療機器・素材関連企業での開発に関わる理工学部出身者、
- ・病院に勤務する様々な技師・療法士などのコメディカル、
- ・病院管理・経営に携わる者、
- ・医療・保健・福祉などに関わる現場や行政に従事する者、
- ・人的・自然災害時における危機管理の現場や行政に従事する者、等

に対して、高度の専門性を要する業務に必要な能力と研究マインドを涵養し、現場における問題解決力を持った人材を養成することを目的としている。

このような人材の養成は現在の社会の要請であり、医療系大学院が果たすべき役割でもある。これまでの多くの医学研究科修士課程は、バイオメディカル分野の研究者を養成することを主たる目的としてきた。本修士課程では、企業・社会の実地において活躍する人材を育成するとともに、医療・福祉関連の職場で働く人材に多様なキャリアパスを提供する2つのコースを設置する。

以上より、本修士課程が設定した4名の定員を充足できると考えている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

<受験対象者へのアンケート調査>

定員の設定にあたり、本学の所在地である北摂地域を中心とする、大阪府北部から京都府に位置する大学（工学系2大学、社会安全・医療経営系2大学、看護系2大学（ただし、より客観性を担保するため、本学看護学部以外を対象））、医療関連企業15社、及び7病院（本学附属病院は対象外）、4行政機関に対して、進学希望者を対象としたアンケート調査を行った（実施期間：平成30年11月～平成31年1月、及び令和元年6月に病院と保健・福祉施設を対象に追加実施）。【資料1：アンケート用紙（進学希望者用）】【資料2-1：アンケート集計・進学希望者（全員）】

アンケートに対する回答数は工学系学部生 806 名【資料 2-2：アンケート集計・進学希望者（大学生：理工）】、看護・社会安全・医療経営系学部生 455 名【資料 2-3：アンケート集計・進学希望者（大学生：看護、その他）】、行政・企業等の社会人 200 名【資料 2-4：アンケート集計・進学希望者（社会人：行政、企業）】（計 1461 名）であった。学部生の回答者は第 1 学年が有効回答数の 34%、第 2 学年 39%、第 3 学年 17%、第 4 学年 10%であり、アンケート時点で卒後の進路が既に決まっていると思われる高学年生は少なかった。社会人の回答者は 20 歳代 38%、30 歳代 33%、40 歳代以上 29%であり、若手から中堅の者まで、まんべんなく回答が得られた。

工学部生においては、医学・医療系の修士課程への進学希望者が「卒業後すぐに進学したい」が有効回答数の 8.7%（「社会人としてキャリアを積んでから進学したい」と合わせると 10%）あり、医学・医療分野に関心の高い工学部生が一定数存在することを示している。看護その他の学部生においても、将来も含めて医学・医療系の修士課程への進学希望者が 8%存在した。

医学・医療系のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えるかという質問に対しては、学生は所属学部にかかわらず「①臨床の現場での検査・診断の実際」という回答が最多であった。このことは、実際の医療の現場で学びたいという学生の希望を反映しているとともに、本修士課程の特徴である「附属病院を活用した演習を主体としたカリキュラム」と合致していると考えられる。社会安全・医療経営系を含む看護その他の学部生においては、「⑥災害医療などの災害危機管理学」～「⑨健康・疾患に関わる社会行動科学」の選択肢を選んだ者の合計が有効回答数の 35%と、工学系学部生（22%）より高かった。社会人においては、「①臨床の現場での検査・診断の実際」～「③医学の現場での研究の実際」のみならず、「⑤医療統計学などのデータ科学」「⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉」「⑨健康・疾患に関わる社会行動科学」を選択した者が多かった。

本修士課程 2 コースのどちらで学びたいかという質問に対しては、工学系学部生は「医療科学コース」が大部分（有効回答数の 85%）であった。看護その他の学部生においては「社会健康医療学コース」が 41%であったが、意外にも「医療科学コース」と回答した者が 59%もあった。社会人では「社会健康医療学コース」が 63%であった。

最も重要な質問である、大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合に進学したいと考えるかという質問に対しては、「進学したい」と回答した者が工学系学部生 22 名、看護その他の学部生 5 名、社会人 7 名であった。「将来の選択肢として考えられる」と回答した者が工学系学部生 63 名、看護その他の学部生 17 名、社会人 24 名であった。大学学部生の 27 名（約 6 名/学年）が「進学したい」と回答している。

今回、アンケート調査をおこなったのは、工学系 2 大学、社会安全・医療経営系 2 大学、看護系 2 大学に限られる。本学が位置する北摂を中心とする京阪神地域には、工学系学部、看護学部、看護学以外の医療・福祉系学部を有する大学が数多く存在している。また、病

院（7施設）、企業（15社）や行政機関（4機関）についても同様である。したがって、本修士課程への潜在的な進学ニーズは、今回のアンケート調査で得られた結果より、さらに高いと推測される。

以上のことから、本修士課程の設定した入学定員4名は十分に確保が可能であると考えている。

<競合校の状況>

関西の国公立・私立大学医学部のうち、医学研究科修士課程を有しているのは7つの国公立大学である。現在、関西の私立医科大学・医学部には医学研究科修士課程を設置している大学はない。特に立地条件を考慮すると、本修士課程の競合校は、京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪市立大学、京都府立医科大学の5大学であると考えられる。競合する5つの医学研究科修士課程の定員充足状況をみると、10名～25名の募集定員を過去5年間にわたって概ね充足している。したがって、本修士課程が新設された場合にも、需要は十分にありと思われる。【資料3：関西の医学研究科修士課程（医科学専攻）の定員充足状況】

また、受験者層に関しては、これら競合校の修士課程には、大学等教育・研究機関や医薬品メーカーなどに勤務する、バイオメディカル分野の研究者を目指して進学する者が多いと考えられる。それに対して、本修士課程は医療機器・素材関連メーカーや医療・福祉・行政の現場で活躍するための知識・技能修得を目指す者をターゲットにしている。したがって、受験者層についての競合は、ある程度避けることができると考えている。

このことから、本修士課程の設定した入学定員4名は十分に確保可能であると考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

既設の本研究科博士課程（医学専攻）の学生納付金は、入学金23万円、授業料35万円（年額）、教育充実費15万円（年額）であり、修士課程でも同額の納付金を設定している。これらを合計すると、初年度納付金が73万円、2年次50万円となる。

この納入金額は国公立大学の大学院医学研究科医科学専攻修士課程の初年度納付金81万7,800円、2年次53万5,800円と比べて安価であり、入学者確保の面からも妥当であると考えている。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けて、本学ホームページに「大学院医学研究科修士課程（設置認可申請中）」のサイトを2019年7月下旬までに開設する予定である。また、本修士課程の特色を紹介するパンフレットを作成し、近隣の理工系学部、医療・福祉系学部、社会安全・医療経営系学部などを有する大学、医療機器・素材関連企業、近隣の医療機関・保健施設・行政機関などに配布するとともに、入試案内などの進学説明会を開催し、学外に広く情報発信することになっている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本修士課程の2コースにおいて養成する人材は以下の通りである。

◎医療科学コース

医療分野における最先端の学識・研究法を備え、先端医療の現場や医療機器・素材開発の分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

◎社会健康医療学コース

公衆衛生学・疫学・行動科学、医療統計学、あるいは災害医療における最先端の学識・研究法を備え、保健医療、行政、教育研究の分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

多様なキャリアパスに対応した教育を展開し、多面的な思考を基盤とした学識を持った人材を養成することで、医療、保健、福祉、社会の安全・安心、教育、産業の分野において社会に貢献することを目指している。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

<社会的、地域的な人材需要の動向等>

本修士課程の設置に向けて、課程修了者に対する人材需要を推し量るために、医療機器・素材関連企業、北摂地域を中心とする行政機関や病院などを対象とした採用意向アンケート調査を実施した。（実施期間：平成30年11月～平成31年1月）【資料4：アンケート用紙（採用者用）】【資料5：アンケート集計結果（採用者）】

アンケートに対する回答数は企業34件、保健所・市役所等の行政機関3件、病院3件（計40件）であった。

医学・医療のどの分野を学修した人材が仕事に役立つと考えるかという質問に対しては、アンケート回答の大部分が医療機器・素材関連企業であることから、「①臨床の現場での検査・診断の実際」「②臨床の現場での治療の実際」「③医学の現場での研究の実際」という回答の合計が有効回答数の52%と高かった。しかし、「⑤医療統計学などのデータ科学」と「⑨健康・疾患に関わる社会行動科学」との回答が各々21件と11件あり、回答のあった行政機関数を大きく上回っていた。つまり、医療関連企業においても、このような医療統計学および社会医学を修得した人材の需要があることを示している。

本修士課程2コースのどちらを修了した人材を望むかという質問に対しては、「①医療科学コース」が15件、「③両コースどちらも」が18件と同等であった。この結果もやはり、医療関連企業における、社会医療系の知識・技能を有する人材への高い需要を示していると考えられる。

大阪医科大学医学研究科修士課程の修了が採用において利点となるかという質問に対しては、「①大いになる」が11件「②ある程度なる」が25件であった。想定される採用者の規模に比して今回のアンケート調査の規模がごく小さいことを考慮に入れると、本修士課程修了者に対する潜在的な人材需要は十分にあることが確認できた。

参考までに、現社員・職員の本修士課程への社会人入学についてどう考えるかという質問に対しては、「①積極的に進める」が1件、「②ある程度勧める」が8件、「③希望があれば勧める」が24件であった。このことから、大阪医科大学が本修士課程を設置する意図と意義は社会的・地域的に十分理解されていると思われる。

<わが国における当該分野の状況>

医療技術が進歩し産業・社会構造が急速に変化する中で、現在の医療や教育の現場においては、様々な学問分野との学際的な研究や教育を通して、多面的かつ複合的な視点を持った人材を育成することが喫緊の課題である。文部科学省の平成30年度未来価値創造人材育成プログラム事業においても、目指す教育拠点の例として工学と医学の教育を連結したプログラムの設置や産学の連携関係を密にした実践力強化に向けた教育体制の整備などが推奨されている。

今後の医療現場においては、コメディカルも医師・看護師・薬剤師と共に、チーム医療の一員として積極的に意見や方策を提案することが求められる。そのために要求される高度な学識・資質を有するコメディカル人材を養成することは、現代医療のニーズに応えるものである。

わが国においては急激な超高齢化社会が進行しており、将来には様々な大規模災害の発生も予想されている。このような状況で、医学・医療が社会と接点を持つ医療・保健・福祉の現場や行政に従事する人材、救援派遣や後方支援を効率的に実施・管理できる人材、長期的な保健医療や広く社会の安全・安心に関わる人材を養成することは、医療・保健・福祉の現場や行政機関において喫緊の課題である。

したがって、本修士課程に設置する医療科学コースと社会健康医療学コースは、今後の我が国の社会的ニーズに適切に応えるものであるといえる。

学生の確保の見通し等を記載した書類 ー資料目次ー

- 【資料1】 アンケート用紙（進学希望者用）
- 【資料2-1】 アンケート集計・進学希望者（全員）
- 【資料2-2】 アンケート集計・進学希望者（大学生：理工）
- 【資料2-3】 アンケート集計・進学希望者（大学生：看護、その他）
- 【資料2-4】 アンケート集計・進学希望者（社会人：行政、企業）
- 【資料3】 関西の医学研究科修士課程（医科学専攻）の定員充足状況
- 【資料4】 アンケート用紙（採用者用）
- 【資料5】 アンケート集計結果（採用者）



大阪医科大学が 医学研究科修士課程を設置します

修士課程 2 コースにより、**医学部(医学科)以外**の出身者に

- ① **医学・医療の知識・研究法の現場での活用力**
- ② **多様なキャリアパスを切り拓く能力**

を修得する機会を提供します。

- ※ 2020年度開設予定
- ※ 社会人入学制度あり

<参考>
学納金について
既設の医学専攻(博士課程)
初年度73万円(入学金含む)、2年次以降50万円

大阪医科大学 医学研究科 医科学専攻修士課程の概要

修了後の進路(例)

医療機器・素材関連企業
工学研究科博士後期課程

元の職場でのキャリアアップ
医学研究科博士課程

保健医療機関 行政機関 ヘルスサービス関連企業
元の職場でのキャリアアップ 看護学研究科博士後期課程

教育目標: 研究開発・医療福祉の現場における問題解決力の涵養

医療科学コース

附属病院・実験施設を活用した演習主体

検査診断学 治療学 医科実験

社会健康医療学コース

相互に関連し、実地に根差した多様な科目

災害・危機管理 病院管理 在宅医療・福祉
公衆衛生学・疫学 社会行動科学 医療データサイエンス

工学部など理系学部出身者
(機器・素材など)

医療機関勤務の
メディカルスタッフ

地域行政の担当者
保健医療、社会の安心・安全

現場の従事者
地域医療、保健、福祉

看護学部など
医療系学部出身者

対象者(例)

《裏面のアンケートにお答えください》

本アンケートは修士課程設置に先立つニーズ調査の目的で実施いたします。
得られた回答は上述目的以外に使用することはありません。
(大阪医科大学 大学院医学研究科)

各設問について、該当する番号に○印をつけ、() 内に記述してください。

I. 現在のあなたのことについてお尋ねします。

大学生の方は1～3にお答えください。

1. 学部（学科）
 - ①工学系
 - ②社会安全/危機管理関連
 - ③医療・福祉系
 - ④その他の理科系
 - ⑤その他の文科系学部
2. 学年
 - ①第1学年
 - ②第2学年
 - ③第3学年
 - ④第4学年
3. 修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。
 - ①卒業後すぐに進学したい
 - ②社会人としてキャリアを積んでから進学したい
 - ③今はわからない
 - ④修士課程進学は考えていない(④の方はアンケート終了)

社会人の方は4～6にお答えください。

4. 現在の勤務場所・職種
 - ①病院（職種： ）
 - ②保健・福祉施設（職種： ）
 - ③行政機関（職種： ）
 - ④企業・その他（ ）
5. 年齢
 - ①20～24歳
 - ②25～29歳
 - ③30～34歳
 - ④35～39歳
 - ⑤40～44歳
 - ⑥45歳以上
6. 修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。
 - ①進学したい
 - ②もう少しキャリアを積んでから進学したい
 - ③今はわからない
 - ④修士課程進学は考えていない(④の方はアンケート終了)

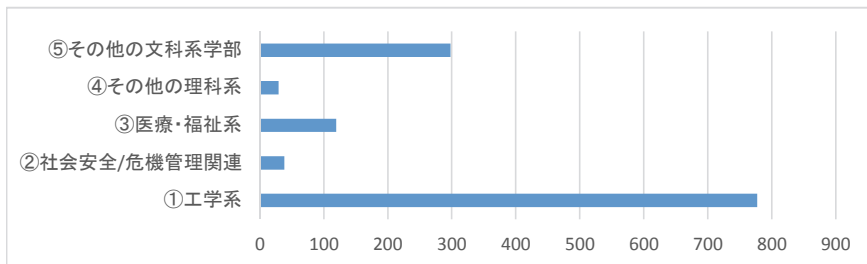
II. 医科学専攻修士課程についてあなたのお考えをお尋ねします。

7. 医学・医療のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えますか。(複数回答可)
 - ①臨床の現場での検査・診断の実際
 - ②臨床の現場での治療の実際
 - ③医学の現場での研究の実際
 - ④公衆衛生学、疫学などの社会医学
 - ⑤医療統計学などのデータ科学
 - ⑥災害医療などの災害危機管理学
 - ⑦医療安全などの病院管理学
 - ⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉
 - ⑨健康・疾病に関わる社会行動科学
 - ⑩その他（ ）
8. 設置予定の2つのコースのどちらで学びたいと考えますか。
 - ①医療科学コース
 - ②社会健康医療学コース
9. 大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合、進学したいと考えますか。
 - ①進学したい
 - ②将来の選択肢として考えられる
 - ③今はわからない
 - ④考えていない

質問は以上です。お忙しい中調査にご協力いただき、ありがとうございました。

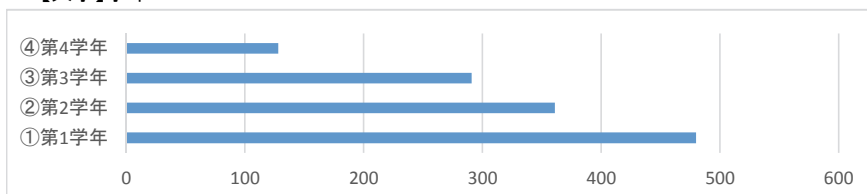
【進学希望者(全員)】アンケート集計 最終版(6/14)

1. 【大学】学部(学科)



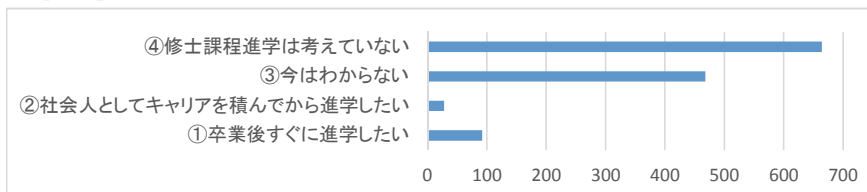
①工学系	777
②社会安全/危機管理関連	38
③医療・福祉系	119
④その他の理科系	29
⑤その他の文系学部	298
有効回答数	1261

2. 【大学】学年



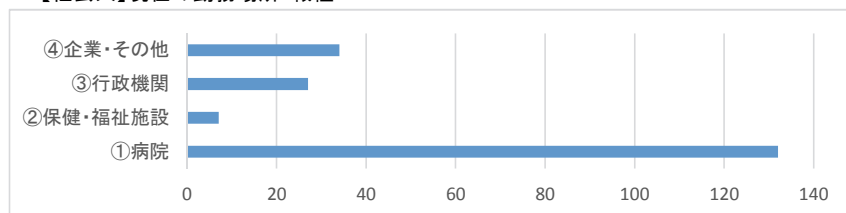
①第1学年	480
②第2学年	361
③第3学年	291
④第4学年	128
有効回答数	1260

3. 【大学】修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。



①卒業後すぐに進学したい	92
②社会人としてキャリアを積んでから進学したい	28
③今はわからない	468
④修士課程進学は考えていない	664
有効回答数	1252

4. 【社会人】現在の勤務場所・職種

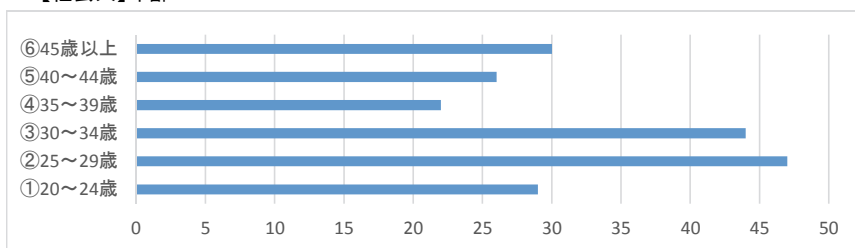


①病院	132
②保健・福祉施設	7
③行政機関	27
④企業・その他	34
有効回答数	200

4. 自由記述

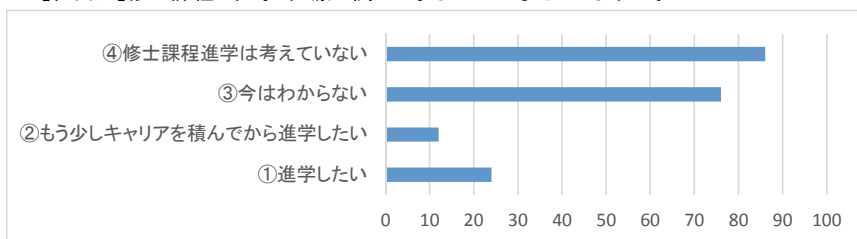
保健師	BML	研究	CRO	製造管理	市役所子ども未来部PHN
看護師	医療機器	システム開発	情報サービス	製造業	大学・職員
心理職	医療機器開発	事務職	製造、化学	製薬	医療技術職
言語聴覚士	臨床検査技師	放射線技師	診療放射線技師	作業療法士	理学療法士

5. 【社会人】年齢



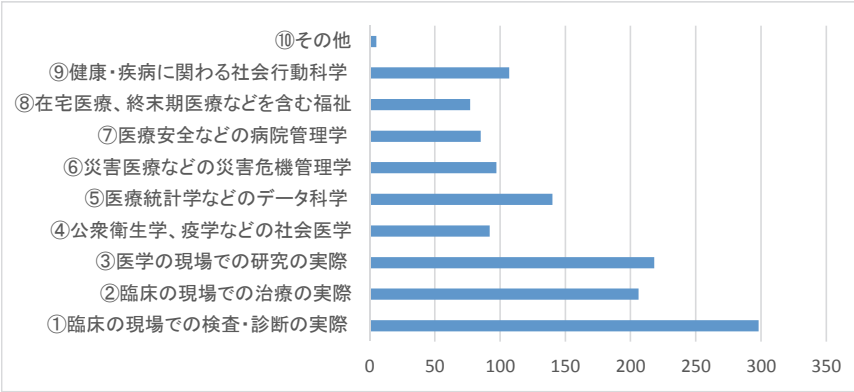
①20～24歳	29
②25～29歳	47
③30～34歳	44
④35～39歳	22
⑤40～44歳	26
⑥45歳以上	30
有効回答数	198

6. 【社会人】修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。



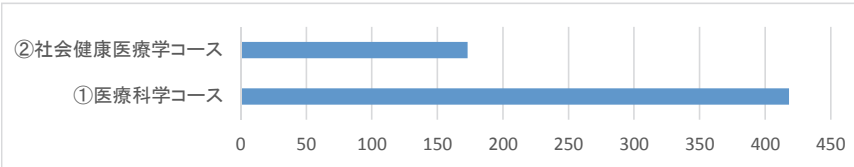
①進学したい	24
②もう少しキャリアを積んでから進学したい	12
③今はわからない	76
④修士課程進学は考えていない	86
有効回答数	198

7. 医学・医療のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えますか。(複数回答可)



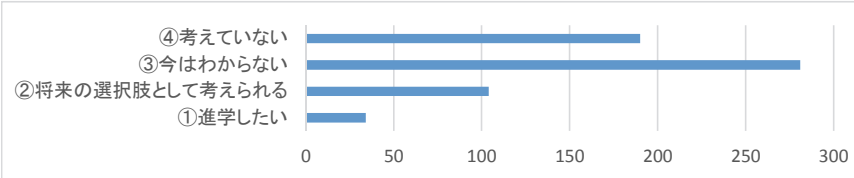
①臨床の現場での検査・診断の実際	298
②臨床の現場での治療の実際	206
③医学の現場での研究の実際	218
④公衆衛生学、疫学などの社会医学	92
⑤医療統計学などのデータ科学	140
⑥災害医療などの災害危機管理学	97
⑦医療安全などの病院管理学	85
⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉	77
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学	107
⑩その他	5
有効回答数	1325

8. 設置予定の2つのコースのどちらで学びたいと考えますか。



①医療科学コース	418
②社会健康医療学コース	173
有効回答数	591

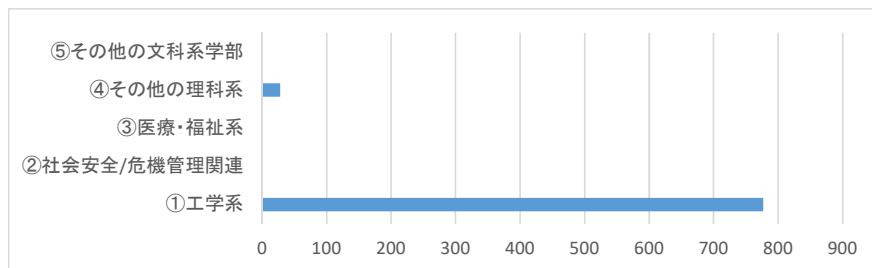
9. 大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合、進学したいと考えますか。



①進学したい	34
②将来の選択肢として考えられる	104
③今はわからない	281
④考えていない	190
有効回答数	609

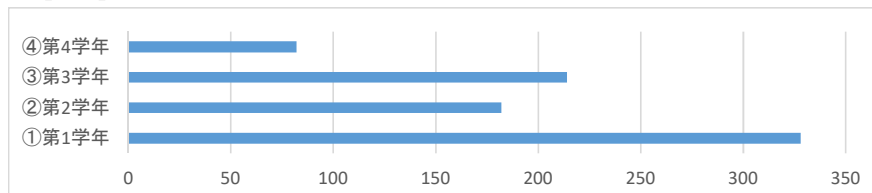
【進学希望者(大学生:理工)】アンケート集計 最終版(1/25)

1. 【大学】学部(学科)



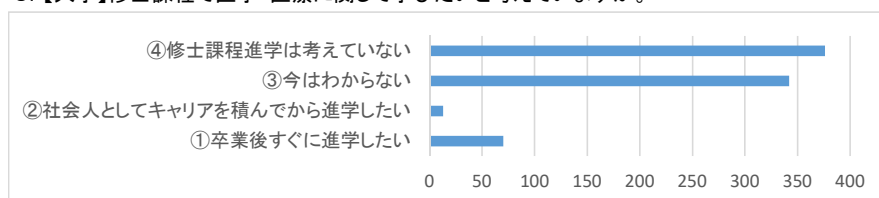
①工学系	777
②社会安全/危機管理関連	0
③医療・福祉系	0
④その他の理科系	28
⑤その他の文科系学部	1
有効回答数	806

2. 【大学】学年



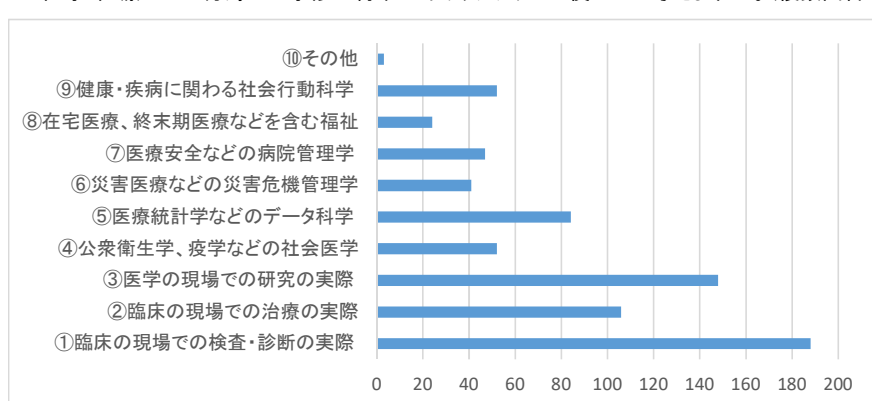
①第1学年	328
②第2学年	182
③第3学年	214
④第4学年	82
有効回答数	806

3. 【大学】修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。



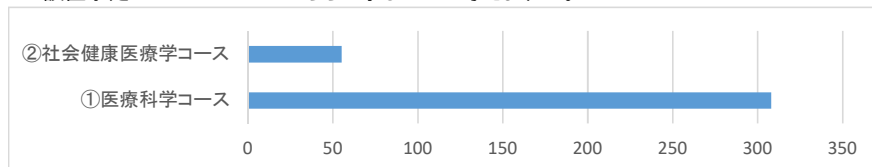
①卒業後すぐに進学したい	70
②社会人としてキャリアを積んでから進学したい	13
③今はわからない	342
④修士課程進学は考えていない	376
有効回答数	801

7. 医学・医療のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えますか。(複数回答可)



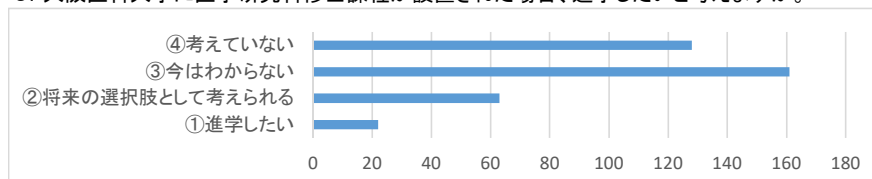
①臨床の現場での検査・診断の実際	188
②臨床の現場での治療の実際	106
③医学の現場での研究の実際	148
④公衆衛生学、疫学などの社会医学	52
⑤医療統計学などのデータ科学	84
⑥災害医療などの災害危機管理学	41
⑦医療安全などの病院管理学	47
⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉	24
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学	52
⑩その他	3
有効回答数	745

8. 設置予定の2つのコースのどちらで学びたいと考えますか。



①医療科学コース	308
②社会健康医療学コース	55
有効回答数	363

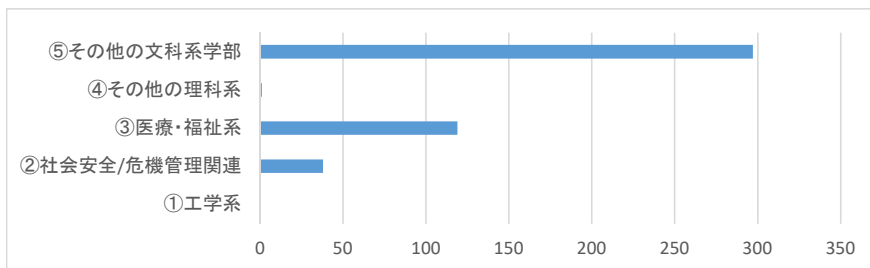
9. 大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合、進学したいと考えますか。



①進学したい	22
②将来の選択肢として考えられる	63
③今はわからない	161
④考えていない	128
有効回答数	374

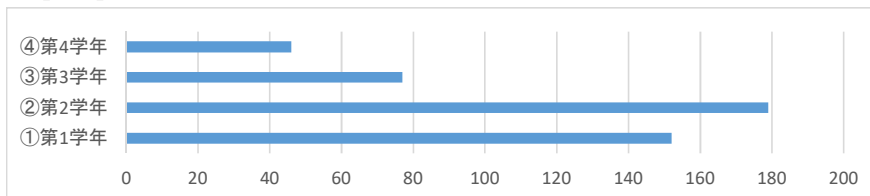
【進学希望者(大学生:看護、その他)】アンケート集計 最終版(1/25)

1. 【大学】学部(学科)



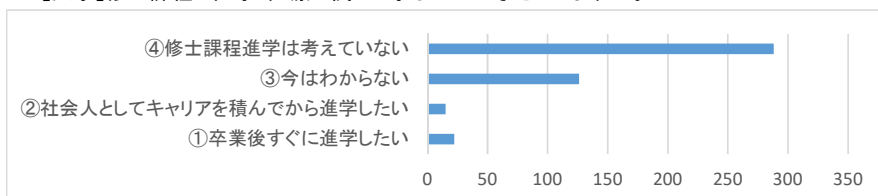
①工学系	0
②社会安全/危機管理関連	38
③医療・福祉系	119
④その他の理科系	1
⑤その他の文科系学部	297
有効回答数	455

2. 【大学】学年



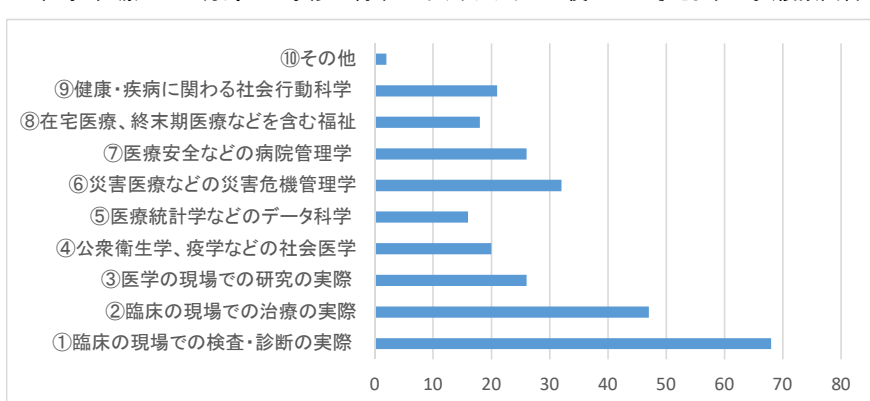
①第1学年	152
②第2学年	179
③第3学年	77
④第4学年	46
有効回答数	454

3. 【大学】修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。



①卒業後すぐに進学したい	22
②社会人としてキャリアを積んでから進学したい	15
③今はわからない	126
④修士課程進学は考えていない	288
有効回答数	451

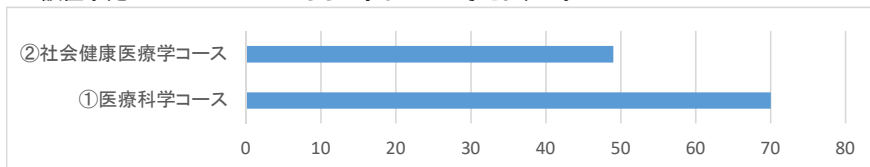
7. 医学・医療のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えますか。(複数回答可)



①臨床の現場での検査・診断の実際	68
②臨床の現場での治療の実際	47
③医学の現場での研究の実際	26
④公衆衛生学、疫学などの社会医学	20
⑤医療統計学などのデータ科学	16
⑥災害医療などの災害危機管理学	32
⑦医療安全などの病院管理学	26
⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉	18
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学	21
⑩その他	2
有効回答数	276

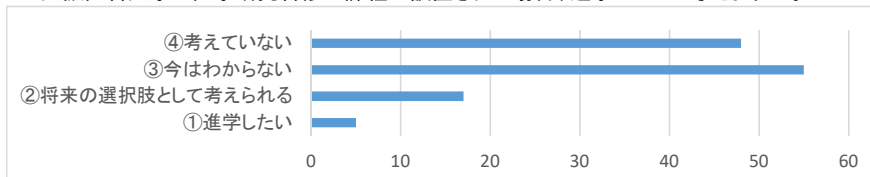
その他:医療事務

8. 設置予定の2つのコースのどちらで学びたいと考えますか。



①医療科学コース	70
②社会健康医療学コース	49
有効回答数	119

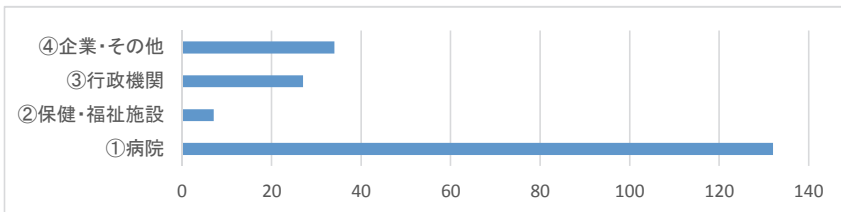
9. 大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合、進学したいと考えますか。



①進学したい	5
②将来の選択肢として考えられる	17
③今はわからない	55
④考えていない	48
有効回答数	125

【進学希望者(社会人:行政・企業)】アンケート集計 最終版(6/14)

4. 【社会人】現在の勤務場所・職種

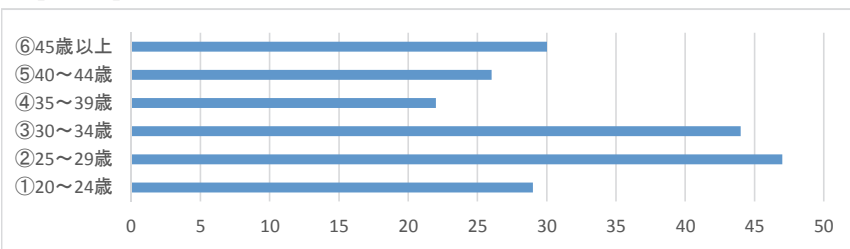


①病院	132
②保健・福祉施設	7
③行政機関	27
④企業・その他	34
有効回答数	200

4. 自由記述

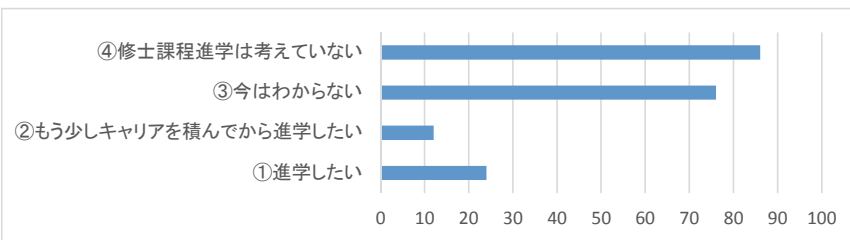
保健師 BML 研究 CRO 製造管理 市役所子ども未来部PHN
 看護師 医療機器 システム開発 情報サービス 製造業 大学・職員
 心理職 医療機器開発 事務職 製造、化学 製薬 医療技術職
 言語聴覚士 臨床検査技師 放射線技師 診療放射線技師 作業療法士 理学療法士

5. 【社会人】年齢



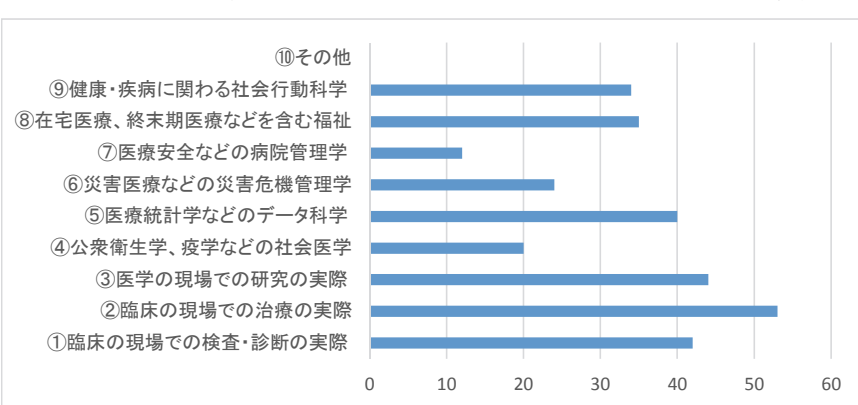
①20~24歳	29
②25~29歳	47
③30~34歳	44
④35~39歳	22
⑤40~44歳	26
⑥45歳以上	30
有効回答数	198

6. 【社会人】修士課程で医学・医療に関して学びたいと考えていますか。



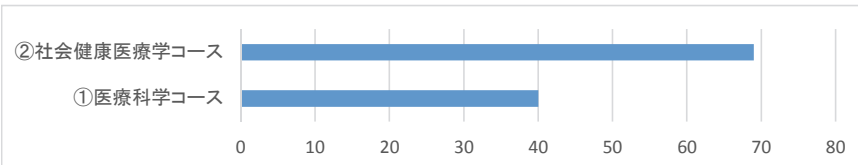
①進学したい	24
②もう少しキャリアを積んでから進学したい	12
③今はわからない	76
④修士課程進学は考えていない	86
有効回答数	198

7. 医学・医療のどの分野での学修が将来のキャリアアップに役立つと考えますか。(複数回答可)



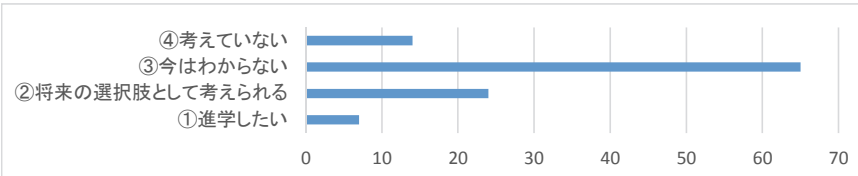
①臨床の現場での検査・診断の実際	42
②臨床の現場での治療の実際	53
③医学の現場での研究の実際	44
④公衆衛生学、疫学などの社会医学	20
⑤医療統計学などのデータ科学	40
⑥災害医療などの災害危機管理学	24
⑦医療安全などの病院管理学	12
⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉	35
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学	34
⑩その他	0
有効回答数	304

8. 設置予定の2つのコースのどちらで学びたいと考えますか。



①医療科学コース	40
②社会健康医療学コース	69
有効回答数	109

9. 大阪医科大学に医学研究科修士課程が設置された場合、進学したいと考えますか。



①進学したい	7
②将来の選択肢として考えられる	24
③今はわからない	65
④考えていない	14
有効回答数	110

関西の医学研究科修士課程(医科学専攻)の定員充足状況

大学	研究科	課程	定員	H30	H29	H28	H27	H26
京都大学	医学研究科	修士課程	20	25	22	未公表	未公表	未公表
大阪大学	医学研究科	修士課程	20	28	27	21	10	24
神戸大学	医学研究科	修士課程	25	17	24	18	21	23
大阪市立大学	医学研究科	修士課程	12	12	14	12	14	12
京都府立医科大学	医学研究科	修士課程	10	8	8	10	7	7
和歌山県立医科大学	医学研究科	修士課程	14	9	9	11	11	13
奈良県立医科大学	医学研究科	修士課程	5	10	6	8	12	10

※滋賀医科大学の医学研究科修士課程は看護学専攻のみ

※現在、関西の私立医科大学・医学部には医学研究科修士課程は設置されていない



大阪医科大学が 医学研究科修士課程を設置します

修士課程 2 コースにより、**医学部(医学科)以外の出身者に**

- ① **医学・医療の知識・研究法の現場での活用力**
- ② **多様なキャリアパスを切り拓く能力**

を修得する機会を提供します。

- ※ 2020年度開設予定
- ※ 社会人入学制度あり

<参考>
学納金について
既設の医学専攻(博士課程)
初年度73万円(入学金含む)、2年次以降50万円

大阪医科大学 医学研究科 医科学専攻修士課程の概要

修了後の進路(例)

医療機器・素材関連企業
工学研究科博士後期課程

元の職場でのキャリアアップ
医学研究科博士課程

保健医療機関 行政機関 ヘルスサービス関連企業
元の職場でのキャリアアップ 看護学研究科博士後期課程

教育目標: 研究開発・医療福祉の現場における問題解決力の涵養

医療科学コース

附属病院・実験施設を活用した演習主体

検査診断学 治療学 医科実験

社会健康医療学コース

相互に関連し、実地に根差した多様な科目

災害・危機管理 病院管理 在宅医療・福祉
公衆衛生学・疫学 社会行動科学 医療データサイエンス

工学部など理系学部出身者
(機器・素材など)

地域行政の担当者
保健医療、社会の安心・安全

看護学部など
医療系学部出身者

医療機関勤務の
メディカルスタッフ

現場の従事者
地域医療、保健、福祉

対象者(例)

《裏面のアンケートにお答えください》

本アンケートは修士課程設置に先立つニーズ調査の目的で実施いたします。
得られた回答は上述目的以外に使用することはありません。
(大阪医科大学 大学院医学研究科)

各設間について、該当する番号に○印をつけ、() 内に記述してください。

I. 貴社・貴庁についてお尋ねします。

1. 企業・役所等の業種別

- ①企業（業種： ） ②保健所・市役所等の行政機関
③病院 ④保健・福祉施設
⑤その他（ ）

II. 医科学専攻修士課程についてお尋ねします。

2. 医学・医療のどの分野を学修した人材が貴社・貴庁に役立つと考えますか。（複数回答可）

- ①臨床の現場での検査・診断の実際 ②臨床の現場での治療の実際
③医学の現場での研究の実際 ④公衆衛生学、疫学などの社会医学
⑤医療統計学などのデータ科学 ⑥災害医療などの災害危機管理学
⑦医療安全などの病院管理学 ⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学 ⑩その他（ ）

3. 設置予定の2つのコースのどちらを修了した人材を望みますか。

- ①医療科学コース ②社会健康医療学コース ③両コースどちらも

4. 大阪医科大学医学研究科修士課程の修了は社員・職員の採用において利点となりますか。

- ①大いになる ②ある程度なる ③ならない

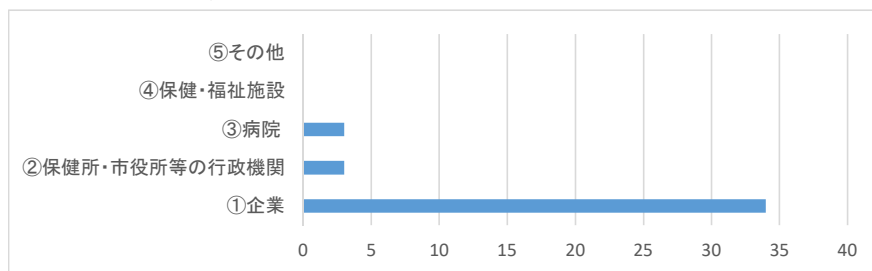
5. 現社員・職員の社会人入学制度を利用した大阪医科大学医学研究科修士課程への進学についてどのように考えますか。

- ①積極的に勧める ②ある程度勧める
③希望があれば認める ④認めない

質問は以上です。お忙しい中調査にご協力いただき、ありがとうございました。

【採用者】アンケート集計 最終版(1/25)

1. 企業・役所等の業種別



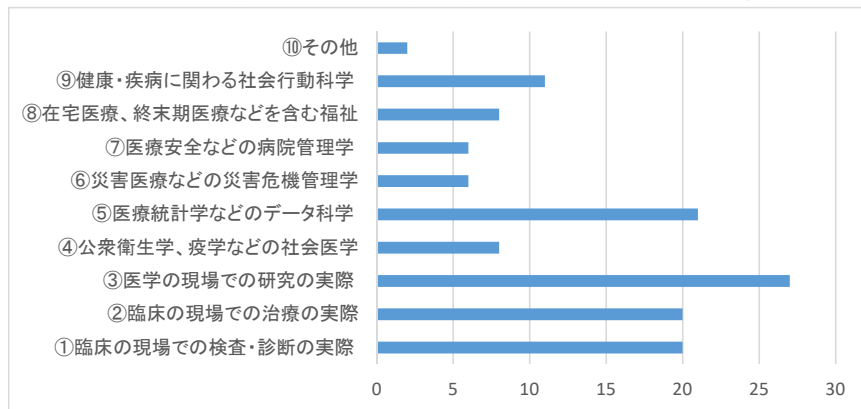
①企業	34
②保健所・市役所等の行政機関	3
③病院	3
④保健・福祉施設	0
⑤その他	0
有効回答数	40

1-2. 自由記述

業種: 医薬・医療機器の製造業 製造業 金属部品製造業 繊維製衛生材料製造業 化学
 医薬品メーカー 製造業、化学 サービス ソフトウェア開発 繊維
 医療機器 製造業、材料 サービス業(医療系) 製造、販売 製造/医療機器
 医療機器の製造 製薬会社 製造(工業、医療) 製造、化学 臨床検査

CRO(DM解析)
CRO

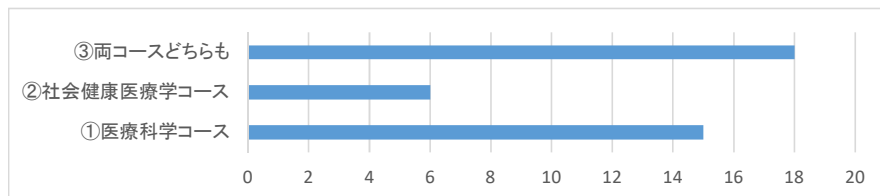
2. 医学・医療のどの分野を学修した人材が貴社・貴庁に役立つと考えますか。(複数回答可)



①臨床の現場での検査・診断の実際	20
②臨床の現場での治療の実際	20
③医学の現場での研究の実際	27
④公衆衛生学、疫学などの社会医学	8
⑤医療統計学などのデータ科学	21
⑥災害医療などの災害危機管理学	6
⑦医療安全などの病院管理学	6
⑧在宅医療、終末期医療などを含む福祉	8
⑨健康・疾病に関わる社会行動科学	11
⑩その他	2
有効回答数	129

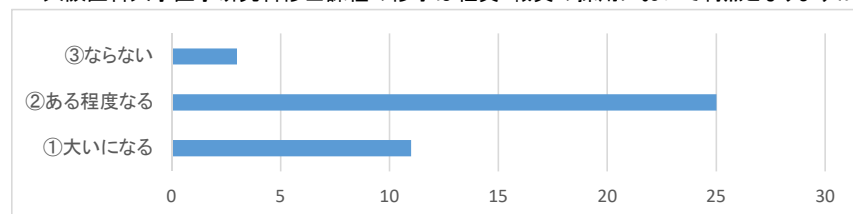
その他: 医療機器のデザイン(1名)

3. 設置予定の2つのコースのどちらかを修了した人材を望みますか。



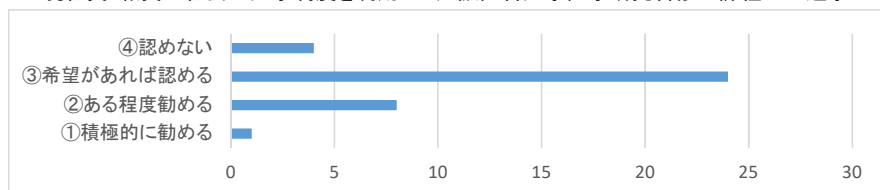
①医療科学コース	15
②社会健康医療学コース	6
③両コースどちらも	18
有効回答数	39

4. 大阪医科大学医学研究科修士課程の修了は社員・職員の採用において利点となりますか。



①大いになる	11
②ある程度なる	25
③ならない	3
有効回答数	39

5. 現社員・職員の社会人入学制度を利用した大阪医科大学医学研究科修士課程への進学についてどのように考えますか。



①積極的に勧める	1
②ある程度勧める	8
③希望があれば認める	24
④認めない	4
有効回答数	37